



津市一身田町2843
高田中・高等学校内
樹心会事務局
電話 059-232-2442



ご挨拶
同窓会会長
佐脇 功

気温の変化が平年とは異なる等、異常気象でしょうか。また、ペルー沖にエルニーニョ現象の発生が予測されています。局地的な豪雨や突風などで災害発生も懸念されますが、皆様には、お変わりなくお越しのこ



ご挨拶
学苑長
高臣 文祥

同窓の皆さんにはますますご健勝にて各方面でご活躍のこととお喜び申し上げます。

私が平成二十二年に学苑長に就任して早くも四年が経過しました。そしてこのたびの理事会におきまして再任され、もう一期学苑長の職務を遂行することとなりました。私は、もとより微力ではございますが、学

と存じます。各地各界で同窓会会員が活躍されていることは誠に喜ばしい次第です。

平素から同窓会の運営並びに母校の発展にご理解ご協力を賜っていただきことに深く感謝いたし厚くお礼申し上げます。

本年度は同窓会事務局長の異動がありました。三年間、務められました前川伸一事務局長は同窓会の運営に尽瘁され、充実発展に貢献されま

苑の発展のために私なりに精一杯励んでいく所存です。

さて、平成二十六年三月に一万八千三百人余りあった県下の中学卒業生は、七年後の平成三十三年には一万五千七百七百人余りとなり、約二千六百人減少します。これは高校が七校から八校は消えるということ、このような急激な少子化が進行していくさなかにあつて、私学はますます厳しい状況に置かれておりますが、本学苑として例外ではありません。このような厳しい環境の中で、ど

した。深甚の敬意を表します。新しく就任されました安井敏明事務局長も保健体育の授業を担当されて日々精励努力されています。敏腕を奮つて前事務局長同様に同窓会の発展に寄与していただけるものと大いに期待しています。会員各位のご支援をお願いいたします。

母校の近況は、学苑長先生をはじめ諸先生方からご案内されています。施設設備の充実とともに進路指導、部活動などの著しい成果は、諸先生方、事務職員の皆様方のご熱心な教育指導・教育施策と後輩の学生・生徒諸君の精進努力の賜物と敬意を表し厚くお礼申し上げます。

さて、世界は局地的には、内戦、聖戦(?)、テロ、近隣諸国間の衝突うすれば学苑の運営を今後も継続的によい方向に進めていくことができるか、このことが私の日々考えているところです。

高田本校では、先輩方もご存じと思いますが、文芸誌『木馬』を毎年発行しております。今年になって私は、その昭和三十一年発行の真弓慧光先生のお書きになった巻頭言を讀む機会がありました。真弓先生は、昭和六年から昭和二十一年と昭和三十一年から昭和五十五年の二度にわたつて学苑長を務められ、在任

期間は四十年に及びます。私はその

などが絶えることなく続いています。しかし、大局的には平和維持の確立に流れは動いています。わが国では安倍政権のアーベノミクスと言われる経済政策、財政政策により景気は上向きになりつつありますが、国民全体が身近かに感じる状況ではないのも事実です。真に景気の回復を望みたいものです。

同窓会員である田村憲久厚生労働大臣は幅広い厚生労働の分野に手腕を発揮され、国民から広く活躍が期待され高く評価されています。同窓会としても大層な誇りであります。ますますのご活躍を願っています。わが国にとっては、難しい外交問題も多々あり、原発事故の処理、エネルギー政策、東北の震災復興、東海、

後半の昭和四十八年から八年間ご指導を賜りましたが、先生の厳しくも慈愛あるご指導は今でも強く記憶に残っています。五十才を越える卒業生の方には先生のことを思い出していただけるものと思います。その巻頭言の中で先生は、次のように書かれてみえます。

「学苑長として常に念頭を離れなかつたことは、生徒諸君が楽しく学校生活を送れるようにし、他方、先生方に張り合いくよく生徒を指導していただけるようにし、両者が結果して生徒諸君の成績が一段と進歩発達

東南海、南海地震への対処、医療・年金問題等の社会保障制度など沢山の課題をかかえています。同窓会員で優秀な人材が課題解決に当ることができればと、活躍を念じています。平成二十六年度の同窓会総会・懇親会は八月三日に開催しますが、事業委員会(伊藤清一委員長)では、「なつかしさ」と鮮明な出合いをテーマに鋭意取組を図り、ポスターを作成し主要な所や会員宅の扉などに掲示して多くの皆様が忘れずに、出合いを大切に、参加されるよう企画しました。どうぞ、お誘い合せでのご参加をお願いいたします。

することでありました。」
誠に恐れ多いことではありますが、私はこの文を読んだとき、我が意を得たりという思いでいっぱいになり嬉しくなるとともに、先生から力強く背中を押された思いでありました。「生徒諸君が楽しく学校生活を送れる」また「先生方が張り合いくよく指導できる」そういう学校を具現化していくことが私に課せられた責務であると考える次第です。



ご挨拶と報告

中高校長
梅林 久高

皆様におかれましては健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の発展と教育方針にご理解ご支援を賜っていること深謝申し上げます。

この三月には卒業生五二三名(三年生三三三名、六年生一九〇名)がさらなる自己実現を目指して飛翔して行きました。これからは地域へ、国へ、世界へと羽ばたいて行ってくれるでしょう。

春には新入生中一は一九九名、高一は三八三名、四年生二〇〇名を迎え、在校生合わせて二四三八名、六十五クラスでスタートしました。男子生徒は一二九三名女子生徒一四五名在籍しています。仏教、親鸞聖人のみ教えを建学の精神として先輩方の築かれた伝統・校風をもとに、高田の生徒が天地に向かってどんどん伸びようとしている新緑の木々のように、その柔らかさと新鮮さを忘れ失うことなく日々育って行ってくれることと強く確信しています。

生徒の少子化は年々著しく減少し



短大の現況のご報告

短大学長
栗原 廣海

樹心同窓会会員の皆様には、日頃の木の教育にご理解とご支援を賜

つつあり、生徒募集の確保が喫緊の課題ですのでその対策に着手しているところとです。ソフト面で多面的な教育環境をより整えて生徒一人一人が予習・復習を大切に、授業に集中し、学習習慣を身につけ、基礎学力、実力、さらに応用力へつながらるように、教職員一体となって熱く丁寧に指導して行く所存です。そのために教職員のスキルアップが重要であり、授業参観はもとより今年度より各教科で公開授業を実施し、自己研鑽に一層精進し、生徒の目線にたち魅力ある授業を展開することを目指すところであります。また、保護者の皆様から学校評価アンケートにご協力を頂き、さらに学校外部評価委員会を立ち上げて、ご意見を反映・活用させて頂く計画です。また、昨今の教育現場では、アクティブラーニングの導入や進歩するIT教材による教育の大切さが叫ばれていますので、本校でもその導入、利用が課題です。

さて、昨年の就職、進学状況、部活活動においても好成績を上げていますので、詳細な内容や結果などは会報の記事をご高覧下さい。部活動では、中学生は二十八の部に約九十二%が入り、高校生は四十八の部に約六十四%が所属して日々精進しています。窓会設置の「全国出場クラブ激励金」を頂いた高校のクラ

り、厚く御礼申し上げます。平成二十六年度が、子ども学科百五十一名、キャリア育成学科オフィスワークコース六十三名、キャリア育成学科介護福祉コース十八名、合計二百三十二名の新生を迎えてスタートいたしました。毎年、学生と教職員や学生同士の親睦を主な目的として実施している「新入生宿泊

ブ数は十一クラブとなりました。中高合わせてクラブ数は七十六の部があります。教員は教科指導、クラス運営、校務、さらに部活動の指導にと奮闘しています。ご支援に対して重ねて感謝申しあげ、活動の一端をご紹介しますと頂きます。

初めて演劇部が全国大会で優良賞を受賞する快挙を達成し、さらに2年連続中部大会出場する快挙を達成。吹奏楽部がB編成で連続四回金賞を受賞。陸上部では五年松岡修平さんが、ウクライナで行なわれた世界ユース陸上選手権で走り幅跳びで見事四位に入賞。校外のダンスチームコパンドールに所属する三名II年近藤愛華さん、I年駒田有香さん、沢田叶さんが全国大会に出場。

個人では、読売新聞主催のノンフィクション大賞で五年尾西英さんが「マンザナル」で最優秀賞、II年達知湖海さんが「思い出すステンドグラス」で優秀賞。高田生がダブル受賞に輝きました。六年岩本亮介さんが日本生物学オリンピックで銅賞を受賞。中学では、産経新聞社主催の「約束(プロミス) エッセー大賞」で中一年中村百花さんが「約束の日」で大賞、上田早規さんが「平和との約束」で中学高校生特別賞に輝き、さらに学校賞を受賞。ほかにもたくさん活躍された皆さんを賞賛するとともに、日々の努力に

研修」も四月二十四・二十五日、好天に恵まれて無事終了し、新入生も順調に高短ライフに溶け込んでくれています。さて、平成二十五年度を振り返ってみますと、昨年度も高い就職率を実現することができました。子ども学科とキャリア育成学科介護福祉コースの就職希望者は全員が就職

敬意を表します。今後もあらゆる分野で活躍されることを期待してまいります。

活気ある学校作りには、進学、部活動が大切ですが、また生徒一人一人の力の結集も必要です。そのひとつの現れが高校生徒会活動です。生徒達を中心となり積極的に行っています。四つの委員会がそれぞれ頑張ってくれています。生活委員会のあいさつ運動、環境委員会のエコキャップ、一身田寺内町清掃、安全推進委員会の地震など防災に対する講習会実施、交通安全対策、企画委員会による学校行事の運営などを展開しています。

今、生徒達は無限の可能性に向かって輝き出そうとしています。建学の精神に導かれ、心身の成長も著しい年齢の時ですので、心の優しさと困難や苦を乗り越えて行く力を育てたいものです。

経済状況や県立の授業料無償化等の影響を受けて、生徒募集も厳しくなりつつありますが、本校独自の授業料等生納付金助成制度も順調に運用されています。

子供達を取り巻く社会状況には危険も潜みます。特に氾濫する情報社会の中で携帯電話やパソコン、インターネットなどの利用は、便利さとは逆に子ども達の生活にも様々な悪影響を与えていますので、常にその

し、キャリア育成学科オフィスワークコースは、五月末日現在、残念ながら一名が未内定ですが、他の希望者は全員就職することができました。三重労働局職業安定部がまとめた三月末日現在の三重県内の短期大学(本学を含め三校)の就職内定状況は、九四・六%、この時点の本学の内定率は九十九%でしたから、本学

健全な利用方法とルール作りの注意喚起と指導を行なっていかねばなりません。また、自転車通学生が交通事故などから身を守るように安全配慮の徹底を推進し、全校生が主体的にルールを厳守し社会規範を高め、公共のマナーを身につけていくための指導を展開しているところであります。地震、津波対策では防災意識を自覚させ、様々なケースを想定した避難訓練を行なう計画です。すでに携帯の防災ガイドを作り生徒に配布しています。今年より非常用備蓄食品「白い小箱」を保護者会の支援で購入し、学校で保管する事を決定して頂く事となりました。

喫緊の課題は様々ありますが、危機意識を持ち保護者の皆様から安心と信頼される学校作りを目指すには、常に教職員の資質向上はもとより、学校とご家庭との緊密な連携が不可欠です。その一助として学年通信の発行やホームページのリニューアルをしていますのでご覧頂ければ幸いです。

卒業生の皆さんとどこかで出会ったとき気軽に声をかけてください。弾んだ声との出合いを楽しみにしています。そして、教職員の多くが学校にいますので、是非遊びに来てください。

の内定率が突出していることがおわかりいただけると思います。ちなみに、四年制大学のこの時点の内定率は、九十三・四%でした。本学の高い就職率は、いつも申し上げておりますように、樹心同窓会会員の皆様のご活躍・名声の賜物と存じます。厚く御礼申し上げます。今後もキャリア支援センターを中心に、

平成26年度

高田学苑樹心同窓会総会

平成26年 8月 3日(日) 午後 3時～6時

● 総会 ホテルグリーンパーク津 (津駅前アスト津内)
6階 中宴会場

● 懇親会 ホテルグリーンパーク津 (津駅前アスト津内)
6階 伊勢の間・安濃の間 (大宴会場)

- 総会・追弔会
- 講演会 前葉泰幸津市長 (中三S53年卒)
- 懇親会 新任教職員紹介他

※会費、3,000円当日受付で頂きます。
 ※お車でお越しの方はアスト津駐車場をご利用ください。
 ※お酒が出ます。飲まれる方はお車での参加はご遠慮ください。



H25年講演会
田村憲久厚生労働大臣(中三55年卒)



H25年懇親会



H25年懇親会



H24年総会 (アストホール)



H23年記念講演



H23年総会追弔会

本学に構築しております学生支援プログラムをフルに機能させ、きめ細かなサポートを実施していきたいと考えています。

学修面に関しては、昨年度は、「Webシラバス」を実現しました。これまで印刷・製本して紙媒体で配布していた授業計画を、学生の便宜に配慮し、Web上で運用することにしたのです。これまでもPDFファイルでご覧いただけたのですが、Web化することにより、インターネット上からたいへん見やすくなりました。本学の各学科・コースでどのような授業を行っているかを、皆様にも是非ご覧いただきたいと思えます。各科目の授業の内容と評価方法等とともに、「到達目標」が書かれています。これが見たいへん重要で、

それぞれの科目を履修するなどのような能力が身につくのが、何ができるようになるのかがここに記されています。本学の具体的な教育内容を「Webシラバス」とおしてご覧いただければ幸いです。

また、昨年度は、「仏教教育研究センター」の事業として「仏教専門講座」をスタートさせました。この講座は「高田本山寄附講座」で、真宗高田派僧侶には「学階」や「布教使資格」取得のための講座であるとともに、「学校教育法」第一〇五条および「学校教育法施行規則」第一六四条に基づく「履修証明プログラム」として実施しているもので、全一〇科目を履修された一般の受講者には、仏教についての専門知識を修得したことを証明する「履修証明書」を発行い

たします。授業は、一日五科目を四月、五月、六月、七月、九月、十月、十一月、十二月、一月、二月の原則最終金曜日に開講し、三月には試験を実施。二年間を一クールとして合計一〇科目を履修していただきます。今年度は第一クールの後半の年、授業はすでに始まっています。今年度末に、第二クールの講座の募集をしますので、関心のある方は是非受講いただきたいと願っております。

ところで、平成十六年四月、大学・短期大学は自己点検・評価に基づき、教育研究や組織の管理・運営等について国の認証を受けた認証評価機関の評価を受けることが「学校教育法」に義務づけられ、「第三者評価」が平成十七年度からスタートしました。以来、七年に一度、「第

三者評価」を受けなければならぬとなりました。それを受けて、本学は平成十九年度に「短期大学基準協会」の評価を受け、すべての評価領域において「合格」や「向上・充実のため」の課題や「早急に改善を要すると判断される事項」は「なし」と判定されたのでした。本学ホームページの「JACAA Accredited College」のロゴは、評価結果が「適格」であったことを証明しています。

以来、七年が過ぎ、第二期間の「第三者評価」を本年受けなければなりません。この七年の間に大学が目指すべき理想像は大きく変化し、本学もさまざまな改革に取り組んできました。その成果を「自己点検・評

価報告書」にまとめる作業を現在進めています。この報告書に基づいて「短期大学基準協会」の評価員が書面調査をし、また秋には評価員が来学して訪問調査が行われます。両調査の結果、「適格」か否かが判断されることとなります。

この評価をご縁として、本学の学生への学修・生活や就職に関する支援のあり方をさらに点検・改善し地域の皆様に信頼され、ますます支援していただける短期大学を目指す覚悟です。今後ともご理解・ご支援を賜りますようお願いいたします。

新任教職員紹介

- 一、氏名
- 二、担当教科
- 三、担当部活動
- 四、趣味・特技
- 五、着任のことば

中・高等学校

- 一、荒木 里美
- 二、国語科
- 三、中学卓球部
- 四、料理・掃除
- 五、本年度より、母校である高田学苑でお世話になることになりました。

在学中に、私が多くの先生に支えられ、助けていただいたように、学校生活、授業等を通して、生徒たちの成長に携わっていきたくと思います。

未熟で、至らない点も多く、ご迷惑をおかけすることもありますが、先生方から学ばせていただきましたと思います。一生懸命努めていきますので、よろしくお願ひします。

- 一、草深 竜哉
- 二、理科
- 三、高校サッカー部
- 四、サッカー、スキー、バイク
- 五、本年度より、高田学苑にてお世話になることになりました。母校であり、自分が学び育ってきた本学苑で教鞭をとらせていただくこと

となり、大変身の引き締まる思いです。

四月から教師人生で初の担任を任されたこともあり、ここまでの二ヶ月間は、毎日が挑戦と試行錯誤の連続でした。まだ不慣れな部分も多いですが、生徒を指導し、また、生徒と経験を共にしていくことで、自分自身も日々成長していきたくと考えています。今後とも、よろしくお願ひいたします。

- 一、眞田 史織
- 二、英語
- 三、吹奏楽部
- 四、オーケストラ、音楽鑑賞、野球観戦
- 五、本年度より、母校である本学苑でお世話になっております。四月に着任してから早くも二ヶ月が経ちましたが、毎日が新しい発見の連続で、充実した日々を過ごしております。一方で、多くの方々のご指導、お力添えを頂いており、自分の未熟さを痛感しているところでもあります。至らぬ点ばかりではありますが、生徒らと真剣に向き合うことで、彼らとともに私も自身も成長できるよう、今後も努めて参りたいと考えておりますので、ご指導の程よろしくお願ひいたします。

これまでの野球で学んできた「感謝」の気持ちを忘れずに、教科指導だけではなく、部活や生活指導も含め生徒と真剣に向き合っていきたいと思ひます。まだまだ至らぬ点が多く先生方にはご迷惑をかけることもあると思ひますが、ご指導の程よろしくお願ひします。

- 一、玉樹 怜
- 二、数学
- 三、中学陸上競技部
- 四、ストリートダンス、ピアノ
- 五、本年度より、歴史と伝統のある高田学苑で教鞭を執らせていただくことになりました。良きご縁を頂けたことを大変嬉しく思ひ、同時に、身の引き締まる思ひです。着任して二か月、生徒たちに、数学は公式に当てはめて解くだけのやり方ではなく、多方面から柔軟に考えて解いていく面白さを伝えられたらと、試行錯誤の毎日をごとしております。

- 一、晋川 大輝
- 二、保健体育
- 三、ソフトボール部、高校硬式野球部
- 四、スポーツ観戦、野球
- 五、本年度より母校である高田学苑でお世話になることができ大変嬉しく思ひます。在学中にお世話になった先生方と同じ教壇に立たせて頂くことができ、毎日の引き締まる思ひでいっぱいです。着任して数カ月がたち、授業や部活動を通じて生徒と共に学べることに感謝し、日々成長していきたくと思ひます。

社会人一年目で至らない点も多しと思ひますが、微力ながらも本学苑に貢献できるよう努めて参ります。今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願ひ申し上げます。

- 一、警城 英嗣
- 二、社会
- 三、なし
- 四、ゴルフ・日曜大工
- 五、大学卒業後、一般企業にて七年程勤めてまいりましたが、本年四月より、非常勤講師として伝統ある高田学苑の教壇に立たせて頂ける機会を頂き、身が引き締まることともに、新鮮な気持ちで日々を過ごさせて頂いております。

教職員としてはまだまだ未熟であり、勉強することばかりですが、感受性豊かで、人間形成における重要な年代を迎える学生達に接するにあたっては、都度真摯な対応を心掛け、信頼関係を構築した上で、一人ひとりの学びをしっかりとサポートしてまいりたいと思っております。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ致します。

- 一、萩野 公美子
- 二、国語
- 三、馬術
- 四、クロスステッチ・ゴルフ・温泉めぐり
- 五、母校である本学苑にてお世話になることに心から感謝しております。

毎日、素直で明るい生徒たち、信頼できる先生方との気持ちのよい挨拶からスタートできることに幸せを感じます。人の想いを自分の人生にいかし、自らも成長させていきたいと思います。また、部活動では「規律正しい生活の中で、学業と両立させながら結果を出す」ということを追求し続けたいと考えています。これから、生徒とともに精進していきたく思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

- 一、宮崎 洋一
- 二、英語
- 三、硬式テニス
- 四、読書・絵画鑑賞、飼犬と戯れること
- 五、高田中・高等学校に着任して速くも二ヶ月になりました。当初は職場に馴染めるか心配していましたが、教職員の皆さんがとても親切で、暖かい雰囲気のおかげで、その心配は杞憂に終わり、充実した毎日を送っています。教員になって三十年以上になりました。その経験を生かして本学苑の発展と、生徒の学力向上に貢献したいと思っております。

- 一、渡辺 祐治
- 二、理科
- 三、なし
- 四、映画鑑賞、旅行
- 五、県立高校での三十有余年の勤務を終えて、縁あって高田中・高等学校に勤務させていただきますこと

毎日、素直で明るい生徒たち、信頼できる先生方との気持ちのよい挨拶からスタートできることに幸せを感じます。人の想いを自分の人生にいかし、自らも成長させていきたいと思います。また、部活動では「規律正しい生活の中で、学業と両立させながら結果を出す」ということを追求し続けたいと考えています。これから、生徒とともに精進していきたく思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

- 一、萩野 公美子
- 二、国語
- 三、馬術
- 四、クロスステッチ・ゴルフ・温泉めぐり
- 五、母校である本学苑にてお世話になることに心から感謝しております。

毎日、素直で明るい生徒たち、信頼できる先生方との気持ちのよい挨拶からスタートできることに幸せを感じます。人の想いを自分の人生にいかし、自らも成長させていきたいと思います。また、部活動では「規律正しい生活の中で、学業と両立させながら結果を出す」ということを追求し続けたいと考えています。これから、生徒とともに精進していきたく思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

- 一、宮崎 洋一
- 二、英語
- 三、硬式テニス
- 四、読書・絵画鑑賞、飼犬と戯れること
- 五、高田中・高等学校に着任して速くも二ヶ月になりました。当初は職場に馴染めるか心配していましたが、教職員の皆さんがとても親切で、暖かい雰囲気のおかげで、その心配は杞憂に終わり、充実した毎日を送っています。教員になって三十年以上になりました。その経験を生かして本学苑の発展と、生徒の学力向上に貢献したいと思っております。

短大

なりました。「一期一会」という言葉がありますが、教職員の方々や生徒たちとの出会いを大切にしていって、初心に戻って学校教育に取り組んでいきたいと考えています。

着任して二ヶ月が経ちましたが、素直でまじめな生徒たちと親切で優しい先生方に囲まれて充実した日々を送っています。微力ではあります。県立高校での勤務経験を活かして、生徒たちの進路希望の実現と中・高等学校の発展のために頑張りたいと思います。今後ともよろしくお願いたします。

一、青木 信子

二、教育実習指導、保育内容・健康

三、なし

四、旅行、ドライブ

五、昨年度まで津市立幼稚園に勤務しておりましたが、今年度より高田短期大学でお世話になることになりました。

保育現場に、子どもの心に寄り添いながら、共に遊び学ぶことができる保育者が少しでも増えることを願って、微力ながらお役に立てるよう努めたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

一、林 韓燮

二、幼児造形Ⅰ・Ⅱ、造形表現指導

法

三、なし

四、旅行

五、本年度より高田短期大学の教員としてお世話になります。現在、子どもの造形遊びとその指導について、様々な観点からの実践方法を指導しています。また、授業外では社会人に求められる人間性の養成に重点を置き、学生指導に取り組んでおります。これから大学が学生たちにとって有意義な学び場になるように力を注ぎたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

一、大野 僚

二、保育原理、教育・保育課程論、教育の方法・技術

三、なし

四、スポーツ観戦

五、本年度の四月より子ども学科に着任しました。保育や幼児教育の養成校としてこれまでも多くの人材を輩出していることから、高田短期大学が地域に密着した短大として親しまれてきたことを雄弁に語ってくれてくれるような気がします。そこにスタッフの一員として加わったからには、これまでの期待を背負った大変な重責を担うことになったと感じています。

これからの社会の変化に対して、保育や幼児教育の重要性はますます必要とされることは明らかです。地域との深いつながりをもった養成校で学生生活を送るとともに、2年間という短い期間を濃密に過ごしてもらえようなお手伝いできればと思っております。

一、大山 美和

二、育児文化研究センター

三、なし

四、洋楽・海外ドラマ鑑賞

五、高等学校、そして短大と5年間私を育ててくださった母校でお世話になることとなり、大変幸せに感じております。校舎は当時の面影を残しつつ、新しく壮大に生まれ変わりましたが、お世話になった先生方の温かい笑顔は何ひとつお変わりなく、心安らぐ思いです。子育てを経験する中で、自分が

一人で生きていくのではない事を実感して参りました。家族、地域の方々、幼稚園や学校の先生、ひいては見知らぬ方までが手を差し伸べてくださる事もたびたびありました。子育てを支えてくださった方々に感謝し、この様な社会がもっと広がっていくよう、自分も支援者の一人として努めて参ります。

一、中川 千代

二、介護概論、基礎生活支援技術

Ⅰ・Ⅲ、総合生活支援技術、コミュニケーション技術、介護過程演習

Ⅱ、介護福祉特論Ⅱ、介護実習

三、なし

四、ガーデニング・手芸・音楽鑑賞・バレーボール

五、この四月より、縁あって再び高田短期大学でお世話になる機会をいただきました。一度専任教員を離れ、非常勤講師として2年間関わらせていただきましたが、この

度、より多く学生達と関わる機会を得ることができ、嬉しく思います。

私自身は、企業、公的機関、福祉施設、専門学校など、様々な職場に所属し子育てしながら働いてきました。その経験を授業や学生指導等に生かし、学生が自ら模索しながらしっかりと考え学び、充実した短大生活が送れるようなサポートをしていきたいと考えております。自己の健康管理に留意しつつ精一杯努めます。ご指導よろしくお願いたします。

一、長倉 里加

二、「乳児保育」「子どもの保健Ⅰ」「子どもの保健Ⅱ」「ゼミナール」

三、なし

四、家庭菜園、子どもと真剣にあそぶこと

五、去年までの幼稚園・保育園に子どもを通わず保護者の立場から一変して、今年は子どもを預かる保育者の側にたち、子どもたちを見つめ、考えることになりました。今まで助産師として出産から育児そして一生を終えるまでを、心から良かったと思えるように援助してきました。これまでの経験を生かしながら精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いたします。

一、野崎 千恵

二、事務局キャリア支援センター

三、なし

四、寝ること

五、十七年に一度の一光三尊佛の開帳の年に着任させていただいた、良き縁に感謝しております。四月よりキャリア支援センターにてキャリアデザイン形成や就職活動への支援をさせていただいております。精一杯努めてまいりますので、ご指導のほどよろしくお願いたします。

一、藤重 育子

二、「保育内容言葉」「言葉表現指導法」「保育実習指導」

三、バスケットボール部、茶道部

四、旅行、買い物

五、四月より子ども学科でお世話になっております。伝統ある保育者養成校で勤務できますこと、光栄に存じます。

学生にとって2年間という短い時間の中で、資格取得とかけがえない思い出作りができるようサポートに努めます。

私自身、アンテナをしっかりと立てて情報をキャッチし、はやく高田短期大学や三重県での生活に慣れたいと思います。今後ともご指導・鞭撻のほどよろしくお願い申しあげます。



平成26年度入試進路状況(延べ数)

平成26年4月

Table showing admission status by school type (National, Public, Private, etc.) and year (3-year, 6-year).

進路状況
平成26年度入試の全体、3年制、6年制の進学結果は次の通りです。

進路指導

高校進路指導部

○三年制(延べ数)

過去5年間の合格者推移

Table showing the number of students who passed in the last 5 years for 3-year programs.

○六年制(延べ数)

過去5年間の合格者推移

Table showing the number of students who passed in the last 5 years for 6-year programs.

○三年制
主な大学進学先

- List of universities for 3-year programs: 東北大学, 名古屋大学, etc.

○六年制
主な大学進学先

- List of universities for 6-year programs: 東京大学, 京都大学, etc.

中・高部活動

■中・高柔道部

- 平成26年度4月現在の部員数
中学生 2年生 男子2名, 1年生 男子1名, 女子1名, etc.

男子個人81kg級 3位

- 三重県高校柔道選手権大会
男子団体 5位

■中・高剣道部

高校の新生がここ数年で最多となる9名の入部。さらに初心者から全国大会出場経験のある選手まで幅広く...

- 中・高剣道部
剣道は、「まさかの競技」であると言われるように、勝敗はやってみるまでわからないので、勝てるチャンスはどのチームにもあります。

【最近の諸大会成績】

- 中学生の部
津市春季総体
男子個人60kg級 優勝
女子個人48kg級 3位

結果につながらず努力が報われなかった三年生ですが、大学でも剣道を続けたいという生徒や、全日本女子剣道選手権大会の予選に出場した

いという生徒がおり、剣道が嫌いに
ならなかったことに、ほっとしてい
ます。結果につながってやれなかった
のは、顧問の責任です。攻めること
なく前に進もうとしている生徒達に
甘んじることなく、顧問一同、反省
し、精進したいと思っています。
中学生は、いよいよ夏の大会が近
づいてきました。中学から始めた生
徒が多いので、ここ最近やっとなし
かり戦えるようになってきたところ
です。夏の大会に向けて、さらに、
努力したいと思います。

休日にも関わらず、道場に足を運
び、ご指導くださる先輩方、本当に
ありがとうございます。今後とも御
指導の程よろしく願っています。

■中・高馬術部

〈努力の原点は感謝の心〉

現在の部員数は、中学生二十四名、
高校生十五名の合計三十九名。初心
者から団体出場をめざす者まで幅広
い選手がいます。生徒たちには、学
校生活を通して将来につながる夢を
見つけてほしいと考えています。

馬術部は、「規律を守り、学業と
の両立をはかりながら結果をだす」
ことを目標にチャレンジしていきたい
と思っています。馬と人とがコ
ミュニケーションをはかるのは簡単
なことではありません。メジャーな
スポーツとは異なり、活動が学校内
で見えづらい点もあります。馬に関
わるさまざまな作業が、自身の競技
結果につながっていくのです。努力
は必ず結果につながると信じ、日々
活動をしていきます。

馬に対する感謝はもちろん、協力
してくださる卒業生の皆様の気持ち
を力に変えて、三六五日頑張ってい
ます。7月下旬の全国大会に向け部

員一丸となり、馬と共に戦ってまい
ります。最後になりましたが、故田
中和磨学苑長の熱い思いを受け継ぎ、
全力を尽くしていきたいと思ひます。
同窓会の皆様のご支援・ご協力を
これからもどうぞよろしく願ひい
たします。(顧問 萩野 記)

■中・高囲碁同好会

現在のクラブ員数は、高校で三名
(男子一名、女子二名)、中学校で
三名(女子三名)です。そのうちこ
の四月から囲碁を始めた生徒が四名
です。皆、練習日に休まず来ていま
すので、将来が楽しみです。

なお、現在5年生の佐藤航君が、
昨年九月一日に行われた三重県高校
囲碁選手権秋季大会において準優勝
しました。佐藤君はその後、十一月
に行われた東海地区高等学校囲碁選
手権大会と近畿高等学校総合文化祭
にも県代表として出場しました。
(顧問 松山 智道)

■中・高鉄道同好会

私たち鉄道同好会の主な活動は、
普段、学校近くで個人が見つけた撮
影所で電車を撮ったり、見たり、
部室では撮影報告や、鉄道の情報交
換をしています。休日には、名古屋
や大阪へ撮影に出向きます。最近の
主な行事は、毎年恒例の近鉄鉄道ま
つりin塩浜に行きました。早朝から
列に並び、各々の欲しいグッズ、部
品を購入したり、いろいろ見学しま
した。

文化祭では、鉄道模型の運転展示
や夏休み遠征の活動報告等を毎年展
示しています。鉄道模型は部員が所
有しているものを持参して合わせ、
大きいレイアウトにして車両を走ら
せています。滅多に大きな部屋で作
ることができないので、毎年楽しみ

にしています。この展示は部員だけ
が楽しむだけでなく、先生も一緒に
なり、いつの間にか鉄道の話題で盛
り上がりです。
昨年9月には、津市主催の「J.R
名松線の利活用を考えるオープン
ディスカッション」に、中学部員と
顧問で参加しました。会場の一志農
村環境改善センターは、地元の自治
会や、他校の鉄道研究会など、名松
線沿線に縁のある方々の参加で、積
極的な意見交換ができ、有意義な場
となりました。

私たちは同好会ですが、鉄道が好
きな人で盛り上がり、充実していま
す。近年、鉄道会社に就職した卒業
生もおり、いろいろアドバイスをし
ていただきます。今年も新しい部員
を迎え、これからも意欲的に活動が
できることを期待しています。

■中学陸上競技部

今年度から中学陸上部の顧問に玉
樹先生と、私、片山が加わり、芝山
先生と3人で陸上部を見てゆくこと
になりました。玉樹先生と私は、陸
上競技の経験がないので、高校陸上
競技部の乙部先生・富倉先生や、前
任の杉本先生に助言をいただきなが
ら、顧問を務めています。

今年、中学陸上部には、1年生21
人と2年生3人が新たに入部し、総
勢41人の大所帯となりました。2年
生・3年生は1年生に練習、試合の
係の仕事など、丁寧に指導し、長く
続いた陸上部の伝統はしっかりと続
いています。

4月のリレーカーニバルでは、3
年生の野呂君が3000mで1
位、津市春季大会では、野呂君が
1500mで、2年生の丸山君が
2000mで1位でした。5月の津
市記録会でも野呂君が800mと

1500mで1位となりました。
暑さ厳しい季節を迎えて、体調に
よく気をつけながら、一人一人がた
くましく成長してゆくのを見守っ
ていきたいと思っています。

■中学サッカー部

3ie 平野 渉
こんにちは。高田中学校サッカー
部現主将、平野渉です。ポジション
は、ゴールキーパーで、中1から
サッカーを始めて、中1の夏からこ
のポジションになりました。今では、
かなり上達したと思います。チーム
も、一番最初のマルヤスリーグでは
リーグ優勝しました。直近の春の中
体連では、一回戦で敗退してしま
いましたが、この悔しさをバネに変
えて、来る夏の中体連では、優勝を
目指して頑張りたいと思います。

今シーズンのチームは、引き分け
が続いています。一点取られても取
り返す、一点取っても逃げられない
と、何ともし難い思いをしなが
ら、毎試合送っています。自分もポ
ジションがポジションなので、失点
に絡むのは間違いないですが、やは
り、引き分けは嫌です。OBの方々
は、各試合でいい成績を残してい
ると思いますが、ぜひ次の初蹴りの時
に来ていただいて、またお話を聞
きたいと思っています。

最後に自分の話をさせていただき
ます。キーパーというポジションに
なると、1年がたとうとした所、ちょ
うど、夏期中体連が始まる少し前の
日でした。自分は、練習中に足を骨
折してしまいました。しかし、スネ
は事故だったため、どうしようもな
いものでしたが、「なぜ、今、けが
をするのか」と自分に苛立ちを覚
えました。それからの試合は、何度
も点を決められては負け、点を決め

られては負けの繰り返しで、外から
見ていて、やっぱり負けるのは嫌で
した。しかし、外から見ることがで
き、コートを広く見ることができ
ました。引分けの続く試合での悔しい気
持ちと、試合を外から見ることので
きた経験、この2つをうまく活用し
て、夏の中体連を勝ち抜いていき
たいと思いました。

これからも、応援よろしく願ひ
します。

■中学バレーボール部女子

私達、中学女子バレーボール部は
三年生四人と二年生三人、一年生六
人で活動しています。部員の数は多
いとは言えませんが、みんなで一生
懸命活動しています。
今年入部した一年生はとても元気
がよく積極的です。部員数の少ない
私達には入部してくれたことだけで
も嬉しいことですが、チームの大き
な力となってくれると確信していま
す。初心者が多い一年生も毎日の練
習で確実に上達しています。一、三
年生も一年生の良いところを取り入
れていきたいと思っています。

中学バレー部は縦の繋がりがりも深く、
引退した後も色々なことを教えても
らい成長させてくれます。また、毎
日毎日練習に来て教えて下さる先生
方も私達の支えとなっております。家
族をはじめ、私達を応援してくる
ことへの感謝の気持ちを忘れず、練
習に励みたいと思います。

日々の練習の中で、バレーボール
はチームプレーであり、一年生から
三年生まで一人一人が大切な仲間
で欠かすことのできない存在である
ということ学びました。技術面でも
キャッチボールの仕方から指導い
ただき階段を一段ずつ上がるように
練習してきました。

私達三年生にとって最後の試合である夏の大会が7月19日にあります。今までよりも良い結果が残せるようがんばってきます。

中学バレーボール部 主将

【中学なぎなた部】

【主な戦績】

平成26年度三重県なぎなた選手権大会(平成26年4月29日 三重武道館)

中学生個人部

優勝 安井 理緒 3c

3位 吉田のぞみ 3c

中学生演技部

2位 安井・吉田組

【活動報告】

現在、11名で活動しています。先日行われた県選手権の結果、個人部で安井選手、演技部で吉田・中道観月3b組が、団体の部で安井・中道・吉田選手が三重県代表として7月26・27日に東京武道館で行われるJOCジュニアオリンピックカップ全国中学生なぎなた大会に出場することが決まりました。5年間入賞から遠ざかっていますが、本年度は団体での5位入賞を目指して頑張りたいと思います。又、8月には日本武道館で行われる全日本少年少女武道錬成大会なぎなた競技の部に参加いたします。こちらも3年ぶりの3位入賞を目標にし、3年生を中心に日々努力を重ねたいと思っています。

顧問記

【中学バスケットボール部】

現在、男子18人(3年生2人・2年生7人・1年生9人)、女子17人(3年生1人・2年生7人・1年生9人)の計35人の部員と顧問3人(真岡康

Table with columns: クラブ名, 成, 績. Lists various club activities and achievements across different categories like water sports, swimming, and individual events.

クラブ成績表(中学校) 平成25年度分

Table with columns: クラブ名, 成, 績. Detailed list of club performance results for various sports including tennis, badminton, and table tennis.

光・川口裕美子・武内見暁)で活動しています。

ほとんどが中学校からバスケットを始めた生徒たちですが、目の前の一勝をつかみとるために、毎日元気に練習に励んでいます。

周囲への感謝を忘れずにチーム全員で今年度も頑張っていきたいと思っています。

■中・高箏曲部

現在箏曲部は高校二年生九名、一年生一名と、中学三年生七名、二年生六名、一年生十名の計三十三名で活動しています。水曜日と金曜日からは外部から指導者の先生に来て頂いており、毎日熱心に練習しています。

昨年度は三重県高等学校日本音楽演奏会で二位となり、秋に開催された近畿高等学校総合文化祭に出場することができました。

夏のコンクールは私たちにとって初めての大舞台でした。コンクールまでの練習では、初めて箏に触れる部員がほとんどだったので早く先輩に追いつけるように夏休みも毎日練習しました。本番では最後まで焦らずに全力を出しきり、満足できる演奏をすることができました。

また、今年度の近文祭は三重県で開催されたので舞台裏の作業も多くの先生方の力を借りながら県内の生徒で行いました。準備は前日から行い、一つの舞台を作り上げるのにこんなに時間もかかること知り、驚きました。当日は、受け付けや舞台進行、他府県の生徒の誘導といった貴重な体験をすることができました。

演奏では単独曲に参加しました。二度目の大舞台での演奏でした。夏のコンクールよりも参加校が増え、観客数も多くなりとても緊張しまし

たが自分達の思っていた以上の演奏ができました。

箏曲部は、分からない事は先生や先輩に気軽に聞いたり相談したりすることが出来ます。また、部活動の話だけではなく、学校生活の話等を楽しみ語り合える温かい雰囲気の中で、今年もコンクールに向けて頑張っていきたいと思っています。

■高校硬式野球部

私たち硬式野球部は、多くの方々を支えられて野球に取り組むことができています。家族や学校など、私たちに関わってくださる方々に感謝の心を持つことを大切にしています。その心を持って、グラウンドへの「礼」、プレー中の「声かけやアンサー(返答)」、あらゆる場面での「ランニング」、そして練習終わりの整備などを大切に、辛い練習で「自らに打ち克つ心」を磨いています。

また、日常生活においてもその心を大切に、早朝から先生方や生徒、地域の方々への「あいさつ」を行っています。あらゆる学校行事にも積極的に参加し、野球部が学校をよりよくし、学校に育てて頂く野球部であろうと行動しています。

野球ができる喜びを全員で感じながら日々の練習に取り組み、泥まみれになって、笑顔で夏の選手権に挑んでいきます。

マネージャー 小林 勇氣
星野 桃加

■高校卓球部

平成26年度三重県高校総体卓球競技兼全国総体兼東海総体三重県予選が行われました。結果は次の通り。

【シングルの部 中勢地区予選】
4月19日 津市体育館

男子シングルスでは、ⅢC前出祐杜ほか計8名が予選通過。女子シングルスはⅢA芝山遙ほか計9名が通過しました。

【シングルの部 三重県予選】
5月3日・4日 県営体育館

男子シングルスでは、Ⅲ2林愛空が第2位で念願の全国総体・東海総体の出場権を獲得しました。またⅡ5小林亮太が第8位で東海総体の出場権を獲得しました。

【ダブルスの部 三重県予選】
5月30日 県営体育館

男子ダブルスでは、Ⅲ2林愛空・Ⅱ5小林亮太ペアが念願の初優勝で全国総体・東海総体の出場権を獲得しました。ダブルスの優勝は4年ぶり。またⅢ1高士智也・ⅡA板崎駿ペアが第3位で東海総体の出場権を獲得しました。

【団体の部 三重県予選】
5月31日・6月1日 県営体育館

男子団体は第2位、女子団体は第4位で東海総体の出場権を獲得しました。

全国総体は8月4日～9日に山梨県甲府市で、東海総体は6月21日～22日に愛知県名古屋市中で開催されます。

■高校ソフトテニス部

こんにちは。男子ソフトテニス部キャプテンの竹村星輝です。現在、ソフトテニス部は男子三十人、女子二十人の合計五十人で活動しています。人数が多い中、工夫を凝らして練習をしています。

毎日コートの整備があり、毎日使わせていただいている感謝の気持ちを入れて、丁寧にコート整備をしています。

ソフトテニス部のモットーは純粋にソフトテニスを楽しむということ。これは顧問の先生に入学した時から言われています。部員のみならずソフトテニスが好きで入部しています。楽しくなさそうにしていますが、試合を見ている人に何も伝えられませんが、一時期、このようなことが原因で何回もミーティングをしました。けれど、このような行き詰まりが、今の良いチームの雰囲気を作ってくれました。

ソフトテニス部には、たくさん卒業生が部活にいらっしやいます。このことは現役にとっても良い刺激になります。卒業生にしか出来ないプレーを見て学べたり、うまく出来ないないプレーを指導していただいたり、色々な面でお世話になっています。お忙しいとは思いますが、近くに来られた時は、コートに寄って下さい。待っています。

■高校硬式テニス部

硬式テニス部は、男子45名、女子15名で日々の練習を行っています。学校のコートと高田短期大学のコートに分かれながら日々、基本練習から試合形式の練習を混ぜながら楽しく取り組んでいます。

今年度も1年生の男子、女子のたくさん生徒の入部がありました。2年生、3年生が素振りや基本的な練習を指導しながらテニス部としての練習がスタートしました。7月には8月から行われる大会に向けての予選があるので、それに向けてトレーニングを行ったり、練習試合を行ったりしながら強くなっていく

もりたいと思っています。

■高校陸上競技部

皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。私たち陸上競技部は男女で部員77名からなる本校で最大規模の部活です。その活動は、高校から陸上競技を始めた選手も多く、自己記録の更新に努力している選手から、トラック&フィールドや駅伝において東海・全国大会において活躍する選手までいます。このような成長や活躍は選手同士の絆によって成り立っています。個人種目でありながら、皆が互いに支え合おうとする思いやりの持ったチームです。今シーズンは昨年以上の結果を出すことを絶対目標として、個人としてもチームとして冬季練習からトレーニング量を増やし努力し、元監督の黒田昌之先生が言われていた「克己」を胸に周りと競走の前に自分自身に負けない心と体づくりを目標達成のために取り組んできました。シーズン前半を振り返ってみると三年生が最後のシーズンで結果を出すことができたと思います。県大会、東海大会の戦いぶりも上級生の活躍に後輩たちが引っぱり張られてどんどん自己記録を更新してくれました。ざりざりの戦いできびしい結果になったこともありましたが、そのことを受け入れて次に繋げていける選手になってきたと思います。夏の全国高校総体へは主将・副主将の2名が出場権を獲得できました。高田高校陸上競技部の代表として全国で活躍してくれることを祈っています。

第44回三重県高等学校陸上競技
男子400mハードル 春季大会
Ⅲ年6組 檜谷 大

5000m	第3位	片山 優史
5年b組	第5位	中谷 僚汰
2000m	第7位	古川 翔太
5000m競歩	第8位	松石 啓輔
15000m	第8位	別所 剛匠
4000mハードル	第3位	坂本 美樹
II年C組	第4位	高井 朱音
走高跳	第8位	高井 朱音
III年3組	第8位	高井 朱音
III年C組	第8位	高井 朱音
5000m競歩	第8位	高井 朱音
II年B組	第8位	高井 朱音
陸上競技の部	第8位	高井 朱音
男子走幅跳	第8位	高井 朱音
6年f組	第3位	松岡 修平
4000mハードル	第5位	松岡 修平
III年6組	第5位	松岡 修平
走高跳	第6位	松岡 修平
6年f組	第6位	松岡 修平
8種競技	第7位	松岡 修平
II年2組	第7位	松岡 修平
8種競技	第7位	松岡 修平
III年5組	第7位	松岡 修平
4x4000mリレー	第7位	松岡 修平
III年c組	第7位	松岡 修平
III年6組	第7位	松岡 修平
II年1組	第7位	松岡 修平
I年C組	第7位	松岡 修平
総合男子フィールドの部	第7位	松岡 修平
女子4000m	第3位	坂本 美樹
III年C組	第4位	高井 朱音
走高跳	第4位	高井 朱音
III年3組	第8位	高井 朱音
4x4000mリレー	第8位	高井 朱音
III年6組	第8位	高井 朱音
III年C組	第8位	高井 朱音
II年5組	第8位	高井 朱音
II年6組	第8位	高井 朱音

※6位までに入賞した選手が東海高校総体に出場
 第61回東海高等学校総合体育大会
 陸上競技の部
 男子走幅跳 第3位 松岡 修平
 6年f組 松岡 修平
 4000mハードル 第5位 大 榎谷 僚汰
 ※6位までに入賞した選手が全国高校総体に出場
 ■高校水泳部
 こんにちは。高校水泳部です。水泳部は現在男子8名、女子11名、計19名で活動しています。昨年度は、学校での陸上トレーニングや水中練習の他にも様々な活動に取り組みました。まず、定期的に行われた県内水泳部との合同練習会や年度末に行われた三重県高体連の強化合宿に参加しました。学校のプールだけでなく、鈴鹿スポーツカールのプールなど、スイミングスクールのプールなど様々な環境で泳ぐ経験をさせていたいただきました。泳力別グループ練習を行うことで他校の選手や先生方から技術や取り組む姿勢など多くのことを学びました。普段は所属が違いう手も一つのチームとなり、みんな大声を出して練習することで更にモチベーションもあがりました。練習では共に頑張る仲間であり、レースではライバルでありますが、それぞれのレベルで互いを高めあうことができたので今年度は更に良い泳ぎができると思います。
 次に、鈴鹿で行われたナショナル合宿の見学や医科学講習会へも参加したことで見たり聞いたりしたことからそれぞれの泳ぎに活かせるよう自ら考える機会が増えました。今年度の高校選手権は、男子総合

5位入賞、女子総合優勝できるように、また昨年度の14名より1名でも多い人数が東海総体に出場できるようにチーム一丸となって頑張っています。ですのでご指導の程よろしくお願ひします。
 ■高校バスケットボール部 (男子)
 僕たちは、平日も休日も、基本的に毎日練習しています。水曜日は、中学の部との兼ね合いで、外で走ったり、筋トレをしています。平日は6時半から7時頃まで練習しています。休日は午前練習が多いですが、他の高校と練習試合をすることもあります。
 練習内容は、基礎的な練習を毎日欠かさずやっているので、実践的な練習をします。男女合同でやることもあります。夏休みなどの長期休暇には遠征に行ったり、他校の体育館で練習したりしています。
 体育館で練習できない日もありますが、公式戦には毎回出場し、勝つために毎日努力しています。先輩方、今後も頑張りますので、よろしくお願ひします。(5年 後上 航)

私たちが女子バスケット部は、選手18名、マネージャー2名で活動しています。部活と勉強の両立のため、平日は補習、休日は模試などで全員揃わないこともありますが、常に全力を尽くし、充実した部活ライフを送っています。
 今年4月に行われた総体地区予選で、私たちは一回戦を快勝し、二回戦は敗れましたが、5、8位決定戦で辛勝し、6位に入賞することができました。最後まで勝敗のわから

ないハラハラする試合だったので、勝った瞬間は、応援に来て下さった保護者の方々と一緒に泣いて喜びました。前回の大会に続いて、県大会に連続出場できるようになりました。これからも今までたくさんの先輩方が築き上げてくれたこのバスケット部を、私たちが受け継ぎ、発展させていきたいと思います。(5年 木村 愛里)

■高校男子バレーボール部
 私たち男子バレーボール部はIII年3名、II年10名、I年8名、マネージャー6名の計27名で協力し、みんなで楽しく活動することを心がけて日々練習に励んでいます。技術的な面ではもちろん、礼儀やマナーの面でも先生方にご指導していただいています。
 私たちのチームは高校からバレーボールを始めた人が多く、去年まではチームの半分以上が初心者でしたが、みんな練習を積み重ね、メンバー同士で日々高め合っています。チームの良さは、いつも明るく元気に、そして粘り強くプレーすることです。どのチームよりも雰囲気が良いと言われるように努力しています。時には厳しく辛い練習もありますが、目標を目指してみんなで頑張っています。私たちが、県ベスト4を目標にしています。そのために、私たちが支えてくれている皆様への感謝の気持ちを忘れずに試合に勝つようにこれからも頑張っていきたいと思います。応援よろしくお願ひいたします。

■高校女子バレーボール部
 女子バレーボール部は、III年生3人、II年生9人、I年生6人、計18人で活動しています。
 III年生が2人という厳しい状況の中、コートにはII年生も交えてみんなで一丸となって戦っています。なので、コートでは先輩、後輩関係なくおもしろい自分のプレーを出しきることが出来ます。粘り強いチームを目指しており、「捨い、繋ぎ、攻撃へ」をモットーに日々努力しています。そして試合を見ている人が自然と応援したくなるようなチームを目指しています。そのために、連続失点をしないように、周りとのコミュニケーションを大切にしたり、練習で積み重ねてきた成果を試合で出せるように一本、一本の重みを感じながら日々練習に取り組みしてきました。
 社会に出て恥じないよう先生方から熱心にご指導いただいています。その熱意に答えるべく一生懸命がんばっています。

■高校ハンドボール部
 現在ハンドボール部は、三年生が引退し、男子二十二名、女子十一名で活動しています。
 昨年十一月に行われた新人大会では、男子は、予選リーグで川越高校に勝ち、四日市南高校に引き分けた結果、決勝トーナメントに侵入することができました。一回戦で津高校に敗れました。女子は、予選リーグで津西高校に勝ったのですが、四日市南高校と名張西高校に敗れ、決勝トーナメントに進出することができませんでした。
 昨年十二月に行われた選抜大会では、男子は、予選トーナメントで桑名高校に勝ったのですが、四日市西高校に敗れました。女子は、予選トーナメントで四日市南高校に敗れました。先日行われた県総体では、男子は、上野高校に勝ったのですが、桑名工業高校に敗れ、第5位入賞となりました。

した。女子は、四日市商業高校に敗れました。男女とも、強豪相手に健闘し、日頃の成果を十分に発揮することができました。

卒業生の皆様、もし時間を作っていただくと、できましたら、是非高田高校グラウンドまで足を運んでいただきたいと思います。

■高校なぎなた部

【主な戦績】

・平成25年度東海高等学校総合体育大会なぎなた競技 (平成25年6月 静岡)

団体の部 優勝 (駒田・渥美・湯川・紀平・大萱・阪・樋口)

個人の部 2位 大萱 花穂

・平成25年度全国高等学校総合体育大会なぎなた競技 (平成25年8月 佐賀)

団体の部 ベスト16

個人の部 ベスト16

・第9回全国高等学校なぎなた選抜大会 (平成26年3月 兵庫)

団体の部 ベスト16

個人の部 5位 大萱 花穂

・平成26年度三重県高等学校総合体育大会なぎなた競技 (平成26年6月 稲生高校)

演技の部 2位 大萱 花穂

紀平 知里 組

3位 北原可奈子 組

女子個人の部 優勝 阪 明栄

2位 樋口 みく

男子個人の部 2位 柴山 裕至

3位 市川 莉希

団体の部 優勝 (大萱・紀平・樋口・阪・北原・渡辺絵未里・渥美麻奈)

【活動報告】

昨年度は悲願の全国大会入賞を果たし、大きな成果の得られた一年でした。本年度はもう一つの目標である、団体戦での全国入賞を狙っています。

今年度の全国入賞を狙っています。その為にまず、東海総体を連覇し、確固たる自信を持ってインターハイに臨みたいと考えています。

先日の県総体の結果、団体・個人2名(大萱・樋口)・演技1組(紀平・大萱組)がインターハイに、団体個人4名(大萱・樋口・紀平・北原)・演技2組(紀平・大萱組、北原・阪組)が東海総体出場権を得ました。

今年度のチームはエースに頼らずに、どこからでもポイントできる所が強みです。ここ数年ベスト8の壁に跳ね返されてきましたが、壁を破り、その上を目指して精進したいと思っています。

■高校男子新体操部

新体操部です。本年度も部員一同、部活と勉強の両立を目指し、日々練習に励んでいます。

現在、三年生5人、二年生6人、一年生4人の計15人が所属しています。中でも、一年生部員2人は創部以来初めての経験者になります。

ジュニアの大会においてトップクラスの成績を残した選手であり、さらなる成長を期待しています。また、他の部員への良い刺激にもなるとしています。

さて、本年度の主な大会としては、5月末のユースチャンピオンシップ(東京都)、6月の東海高校総体(愛知県)、8月の全国高校総体(東京都)、3月の選抜大会(広島県)などがあります。

特に全国高校総体の個人出場枠は各県一人になるため、激戦が予想されます。お互いにライバル心をもち切磋琢磨する

中で、技術力・精神力を磨いてもらいたいと思います。また、数年出場していなかった団体競技にも参加する予定です。全国高校総体の団体出場枠は東海ブロックで上位2校となります。

非常に厳しい戦いになります。東海の上位校に食らいついていきたいと思っています。最後になりますが、新体操部OBの皆様の心暖かな応援がありがとうございます。

数年前、「部旗」作成のため、有志の方々に寄付をいただきました。先日、ついに部旗が完成いたしました。大変遅れてしまい申し訳ありませんでした。

■高校バドミントン部

私たち高校バドミントン部は、男子が三年十二名、二年十一名、一年十六名の計三十九名。

女子が三年五名、二年六名、一年十六名の計二十七名。男女合計六十六名で活動しています。

昨年の県総体では、団体戦において女子が三位に入賞し、一昨年の秋季大会に続き二大会連続で東海大会に出場しました。

昨年の秋季大会では四位になり東海大会出場を逃しましたが、その悔しさを糧にして全国大会出場を目標に頑張っています。

個人戦では二年男子の坂井香月が新人大会シングルで五位に入賞し、女子三年の青木美友・梅田芽衣ペアが新人大会ダブルスで三位入賞、青木美友が県総体シングルで五位入賞など、飛躍の年になりました。

揃っている訳ではなく、高校からバドミントンを始めた選手も多いので日々努力して練習に取り組んでいます。

顧問である齋藤先生と奥田先生は、二人ともバドミントンの経験があり、いつも熱い指導をしていただいています。

土日などの休日は、卒業生や外部コーチの方々にたくさん来ていただき、練習を見ていただいています。

普段は高田短大の体育館を借りて練習をしています。しかし、毎日体育館で練習できるわけではありませぬ。そのため、短大の体育館が使用できないときは、公の体育館を使用していただいたり、外で走ったり、トレーニングをしたりしています。

決して練習環境が良いとは言えませんが、だからこそそのときでできることに集中して、一生懸命取り組むことが自分たちの力になっていくと思っています。

そんな私たちの目標「インターハイ出場」です。この目標を達成できるように、顧問の先生、外部コーチの方々の力をお借りし、いつもお世話になっている方々に対する感謝の気持ちをお忘れずに、練習に励みたいと思います。

■高校ソフトボール部

ソフトボール部は3年生8人、2年生7人、1年生5人の計20人で活動しています。

「応援してもらえらるチームになること」が私たちのモットーです。日頃の行いがプレーを左右するという考えを私たちは大切にしています。

ですから、技術面のみならず、普段の学校生活のさまざまな点について先生からいただくアドバイスがとて

も重要です。顧問の先生は、礼儀作法や挨拶、制服の上手な着こなし、掃除の仕方などを教えてくださるだけでなく、進路や進学の相談にも乗ってくださいます。

毎日の練習は、とても活気があり、笑顔も一杯です。楽しく練習することも私たちが大切にしていく練習姿勢です。

平日は2〜3時間を目安に、基本練習をしています。人数が増えたのでチーム内で紅白戦ができることを何よりもうれしく感じています。

休日は練習試合が中心です。他校のプレーや取り組みから学ぶことも多く、どのようにベストパフォーマンスをするか、また、どうやって出来るかを探しながら練習に取り組んでいます。

4月の春季大会(於、川越高校及びいなべ総合高校グラウンド)、初戦のセントヨゼフ女子高戦では、初回から打線が繋がりが、17対0と、3回コールド勝ちを収めました。

2回戦はシールド校である松阪商業高に對し、あと一歩というところでホームベースを踏むことができず、0対4と惜敗しました。

5月の高校総体予選(於、松阪商業高校グラウンド)及び熊野市営球場)は、1回戦名張桔梗が丘高・伊賀白鳳高に8対1、2回戦は強豪川越高に3対0と勝ち進み、ベスト4をかけた試合で松阪商業高に惜しくも0対5で敗れましたが、5位入賞という快挙を果たしました。

3年生にとっては、最後の試合となりましたが、ソフトボール部で学びそして培った数々のことをこれからの人生に生かしていきたいと考えています。

■高校軟式野球部

軟式野球部は昨年4月より部へ昇格し、現在、3年生5人、2年生8

人、1年生9人、マネージャー4人の合計26人で活動をしています。文武両道に加え、東海大会出場を目標とし、日々の練習に励み、県内外の高校と練習試合を重ねています

昨夏の第58回全国高等学校軟式野球選手権三重県大会では、Bゾーンで優勝し、念願であった東海大会に出場できました。さらに、新チームとなつて初めて臨んだ平成25年度三重県高等学校軟式野球秋季大会では準優勝し、二度目の東海大会出場を果たしました。秋の東海大会は、中京大学付属中京高等学校と対戦し、7回まで両校無得点という緊迫した試合でしたが、2-10で惜しくも敗れてしまいました。これは、先輩たちの努力やチームの絆を伝統として私たちが受け継いだ結果であると思います。

二期連続で東海大会に出場することができましたが、今年の春季大会は初戦敗退という、非常に悔しいものになってしまいました。この苦い思いを晴らすために、次の夏季大会では、三度目の東海大会出場、その先の全国大会出場を目指そうと決心しました。今は、力をつけるべくより一層熱心に練習を積み重ねています。三年生にとっては最後の大会になるので、精一杯やり抜き勝ち進んでいきたいと思っています。

■高校バトン部

部長 稲森あかり

私たちバトン部は、2、3年生16人から新たに20人の新入部員を迎え、36人で毎日練習に励んでいます。

私たちは、生徒会直属の部として、文化祭で演技を披露したり、体育祭や壮行会でパレードをしたり夏には野球部の応援に行ったり、さまざま

な行事に参加しています。文化祭では、バトン部単独の演技の他にも吹奏楽部の演奏に合わせ踊ったりもします。練習も本番もとても楽しくて、終わると達成感で部内の絆が深まります。夏の野球部の大会では吹奏楽部と応援を行っています。大きな声を出して、3年生にとって最後の大会を応援出来る事を嬉しく思い、毎年楽しみにしているものです。

学校の行事以外にもさまざまな大会や検定に参加しています。昨年度は三重県バトントワリング大会ソルトワール入門部門の検定を受け、金賞受賞を目指し、毎日何度も繰り返し練習した結果、多数の金賞受賞者が出ました。9月に行われたマーチングバンド・バントンワリングの大会では、難しい技が上手くいかずに辛い思いもしましたが、何度も練習していくごとに成功率も上がり金賞を受賞し、10月の東海大会でも銀賞を受賞する事ができました。そしてポンパツによるダンスの大会にも出場しました。3年生にとっても2年生にとっても初のダンスの大会でした。フォーメーションや足を上げる高さなどに苦労しましたが、みんな協力してたくさん練習し、結果は優勝する事ができました。大会で協力する事、仲間の大切さなど気づくことができ、とてもいい経験ができました。

今は6月に行われるダンスの大会に向け毎日練習しています。前は優勝する事ができた大会ですが、今回は全国大会を目指し、残りの練習を精一杯頑張ります。

■高校家庭部

私たち家庭部は女子40名、男子1名で週2回活動しています。お菓子作りを主に行っていますが、最近で

第64回三重県高等学校総合体育大会 結果

平成26年5月30日(金)～6月1日(日)

部名	競技	年組	氏名	成績	東海	全国	
新体操部	男子個人	I E	堀 孝輔	1位	○	○	
		III D	西川 凌平	2位	○		
	男子団体	III d	西川 凌平	1位	○		
		6 d	伊藤 健				
		6 f	金原 僚亮				
		6 e	牧田 佳大				
		II 5	横山 裕輔				
		I E	堀 孝輔				
		I C	村田 晟也				
		I 4	西村 健人				
空手道部	女子個人形	I 5	田中 優有	4位	○		
		6 e	大萱 花穂	1位	○	○	
なぎなた部	女子個人	6 a	樋口 みく	2位	○	○	
		6 e	紀平 知里	4位	○		
		5 c	北原 可奈子	6位	○		
		I D	柴山 裕至	2位	○		
	男子個人	II 4	市川 莉希	3位	○		
		6 e	大萱 花穂	2位	○	○	
	6 e	紀平 知里					
	団体	演技	5 c	北原 可奈子	3位	○	
			6 a	阪 明栄			
		団体	6 e	大萱 花穂	1位	○	○
6 e			紀平 知里				
6 a			樋口 みく				
6 a			阪 明栄				
5 c			北原 可奈子				
5 b			渡辺 絵未				
4 c			渥美 麻奈				
2			林 愛空				
卓球部	男子シングルス	III 2	小林 亮太	8位	○		
		III 2	林 愛空	1位	○	○	
	男子ダブルス	II 5	小林 亮太	3位	○		
		III 1	高士 智也				
		II A	板崎 駿				
		III 2	林 愛空				
	男子団体	III 1	高士 智也	2位	○		
		III 4	中村 智也				
		III C	前田 祐杜				
		III 2	山田 慶尚				
II 5		小林 亮太					
II A		板崎 駿					
5 b		松原 巧明					

第48回全日本高等学校馬術競技大会 東海地区予選

平成26年6月15日(日) 愛知県森林公園

出場種目	年組	氏名	成績
団体	6 b	村木 拓	4位通過 全国大会出場
	5 a	亀井 大志	
	II 1	河野 雄大	
	5 b	仲尾 拓朗	
	II 3	亀井 美希	
	II D	加藤 紗矢音	

第25回全日本高等学校馬術選手権大会 東海地区予選

平成26年6月15日(日) 愛知県森林公園

出場種目	年組	氏名	成績
個人	5 a	亀井 大志	優勝 全国大会出場
	6 b	村木 拓	2位 全国大会出場

部名	競技	年組	氏名	成績	東海	全国	
卓球部	男子団体	II 5	多門 倅平	2位	○		
		I 3	永井 皓大	4位	○		
	女子団体	III A	高村 紗耶				
		III B	北万 里奈				
		II 1	田中 真優				
		II C	平子 陽菜				
		II D	本田 いづみ				
		II 3	馬場 晴菜				
		II 2	宮下 恭佳				
		II 1	西井 緑				
陸上部	男子走幅跳	6 f	松岡 修平	準優勝	○	○	
		III 6	櫻谷 大	第3位	○	○	
	男子走高跳	6 f	松岡 修平	第5位	○		
		II 2	山川 嵐	第6位			
	男子8種競技	III 5	山本 耕平	第7位			
		III C	中谷 僚汰	第7位			
	男子4×400mリレー	III 6	櫻谷 大	第7位			
		II 1	谷口 稀依也				
	女子400m	I C	愛敬 虎之介	第3位	○		
		III C	坂本 美樹				
女子走高跳	III 3	高井 朱音	第4位	○			
	III 6	伊藤 月芽	第8位				
III C	坂本 美樹						
II 5	前田 佳奈						
II 6	山本 希羽						

はお菓子以外にも和食や中華、イタリアンにも挑戦しています。私たちはその年ごとに活動内容を考えて、自分達の個性にあふれる活動ができるように心がけています。

今年文化祭でワッフルに初挑戦し、みんなで意見を出し合いながらおいしく、見栄えのよいワッフルを売ることができました。なによりも自分達の作ったものを「おいしい」と言って食べてもらえる喜びを感じることができました。

寺内町祭りでは、卵ポロに初挑戦しました。何度も作り直し、レシピを考察し、小さい子供はもちろん大人の方にも自信を持って食べていただける卵ポロを作り上げることができました。食べる人の笑顔を想像しながら試行錯誤することは、ものづくりの大きな喜びであり、良い経験となりました。

また、春休みにはお花見弁当を作り、公園で部員全員でお花見をしました。お花見弁当は事前から練習をし、お花見が華やかになるようなお弁当をコンセプトにしました。先生にアドバイスをいたいただきながら、つまり寿司やお団子を入れた可愛いお弁当を作ることができました。

3年生の作る創作料理では、2年半の部活の集大成として、思い思いの制作をしました。パスタ生地を自分たちで打つなど、細かい所までこだわって作った料理を後輩や先生方に感謝の気持ちを込めて振る舞いました。

先生方はいつも「部活動の楽しさは人と人との関わりにある」とおっしゃっています。この一年間は文化祭や寺内町祭りのような大きなイベントごとに、部員の絆が強くなっていくのを感じることができました。様々な活動を通して、私たちの「チャ

レンジ精神」を皆様に感じていただけるように、これからも努力していきたいと思えます。

■高校仏青インターアクト部

「仏青インターアクト部の活動と目標」

2年A組 八席 笠原 美空
私たち仏青インターアクト部は、ボランティアを中心に活動をしています。学校で行われている仏教行事の準備や、月に一度の一身田寺内町の清掃活動や、JR 一身田駅の美化活動に取り組んでいます。また、高田山専修寺や一身田寺内町で開かれているイベントのお手伝いもさせていただいており、夏休みにも小学校高学年向けに開かれる「歴史まるごと体験塾」には、年間連続でスタッフとして参加してきました。昨年は「津市教育功労賞」をいただき、これからもより一層地域のために尽くしたいと改めて感じました。他にも、「赤い羽根共同募金」や、「あしなが学生募金」などの募金活動も行い、交流のある上浜保育園へ「夕涼み会」などのお手伝いに行かせていただくこともあります。

最近、「プレ三重県民大縁会」のお手伝いをさせていただいたり、県外のボランティアにも参加するなど、活動の範囲が広がっています。せっかく貴重な体験をさせていただいたので、「終わった！はい、おしまい。」ではなく、もっと真摯に受け止め、将来に繋げていきたいです。もうすぐ3年生が引退し、2年生が中心となって活動することになります。1年生はたった二人、しかも男子部員が少ない状態です。そのため、少しでも多くの人に関心を

持つてもらい、部活動をより盛んにするのが、もう一つの目標です。これからも、学校や地域からの信頼を得られるよう、一所懸命に活動していきます。

■高校将棋部

4月27日に行われた第50回全国高等学校将棋選手権大会三重県予選において、高田高校は男女とも団体戦優勝、女子個人戦においては準優勝に輝き、茨木県で行われる全国大会の出場権を獲得しました。

将棋部は、放課後2時間ほどの練習を毎日行っています。中学生、高校生の区別もなく大会に向けて実戦中心の練習を行い、対局後についてはお互いの良かったところや、悪かったところなどを確認しながら試合で勝つことを目標に練習に励んでいます。

また、土日には他の学校の生徒たちと練習試合を行うなど、棋力の向上に向け努力を重ねています。興味のある生徒のみなさんは、是非部活動を見学して下さい。

■高校放送部

高田高等学校放送部は、昨年度は、第60回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会および、第33回近畿高等学校総合文化祭に出場するなど、成果を出すことが出来ました。今年度もすでに、8月の第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会への出場を決定しており、日々楽しく充実した活動をしています。さらに昨年度は、一身田寺内町まつりに運営スタッフとして参加させていただき、三重テレビ放送のワイドキに出演したりと、活動の幅を上げました。また、今年新入部員が例年になくたくさん集まり、総勢33人の大所帯とな

りました。お昼の放送、コンテストの練習など楽しさと厳しさを両立し、第61回のNHK杯全国大会入賞を目指しています。

■高校演劇部

顧問創作で二年連続中部大会出場

昨年度、高田高校演劇部はかつてない栄誉に浴した。まず、一昨年2012年度の中部大会で最優秀賞・文科大臣賞を受賞した『マスク』を半年後、第59回全国高校演劇大会（長崎大会）（8/28/4、長崎市公会堂）で上演することができた。審査結果は最優秀賞であったが、何よりも全国各プロダクションから推薦されたわずか十二校の上演校に選ばれ、全国からの多くの観客の鑑賞に堪える作品を発表できたことは、在籍した演劇部員にとって一生の宝物となろう。全国大会出場に際してはとりわけ樹心同窓会には厚いご支援をいただきました。紙面をお借りして謝意を述べたい。

また、全国大会の夢さめやらぬまま8月7/9日の第58回三重県大会（三重県総合文化センター中ホール）で、『葉指の約束』（西尾優・作）を上演、最優秀賞・中日新聞社賞を受賞した。全国大会をかけたもちながら、全国大会の毎日の終演後、長崎の公民館を借りて稽古した甲斐あって、2年連続で中部大会に出場することができた。12月26日、愛知県知立市のパティオ池鯉鮒での上演には三重県からもたくさんのお客の方々に足を運んでもいただき、たいへんありがたかった。（水野記）

昨年、8月2日に行われた、平成25年度三重県吹奏楽コンクール高等学校B編成の部で金賞を受賞し、優勝することができました。県代表として、同月に行われた東海吹奏楽コンクールに出演し銀賞を受賞することができました。

久しぶりの東海大会出場で、生徒たちも毎日熱心に練習し、本番では、最高の演奏をすることができました。また、大変貴重な経験をすることができました。

また、9月に行われた、三重県マージナルコンテスト、パレードコンテスト部門においても、金賞を受賞し県代表に選ばれました。11月に、名古屋市で行われた、東海マーチングコンテストにおいても、練習の成果を発揮し、自分達らしい演奏・演技をすることができました。

昨年の貴重な経験を今後につなげていけるように、今後も積極的に活動していきたいと思えます。

■漫画アニメ部

漫画アニメ部は、本年も多くの新入生を迎え、30名を超える部員数となりました。近年発行している月刊誌の締め切りに追われながらも、上級生が下級生に指導をしながら、よい雰囲気での部活動が行われていると思えます。 顧問記

■吹奏楽部

吹奏楽部は、現在約60名で活動しています。



国際交流委員会

鳥羽敬子

三月に行われたオーストラリア国際交流プログラムに参加させていただきました。

今回は二十周年ということで、生徒三十六名、織田先生、廣先生、鈴木巧先生、鳥羽の総員四十名の例年より大きな規模となりました。

三月十四日早朝なぎさまちを出発し十五日早朝メルボルン到着。パレード・セントモニカの両校にバスで向かい、ホストファミリーと対面をし、ホームステイが始まりました。生徒たちの恥ずかしそうな顔。最初はホストと意思疎通ができず不安げでしたが、すぐに馴染むことができ、普段以上の活き活きとした表情を見せてくれました。

休日それぞれのホストファミリーと共に過ごし、週始めから、それぞれの学校では、多彩なプログラムが用意されていました。

教室での授業に始まり、楽しく美味しくできた調理実習。サーフィン実習は少し涼しい中でしたが、上手く波に乗ろうと何度も何度もトライする生徒の姿に感動しました。

メルボルン市内ウォークラリーで

は、全チームがしっかりと散策をしながら市内に無事集合場所に帰って来ることができた時には「世界一住みやすい都市」を実感しました。自然動物園・金鉱野外博物館見学等、オーストラリアの文化・自然・歴史を幅広く学習でき、毎日が新しい体験で本当に忘れられない、素晴らしい経験となりました。

両校の担当の三名の先生が非常に熱心にお世話してくださったこともあって、充実したプログラムを順調に進めていくことが出来ました。

週末は収容人員五万人のナショナルスポーツミュージアムでオーストラリア不動のN.O.Sスポーツを観戦しました。サッカーのように走り、ラグビーのようにタックルし、バスケットボールのようにドリブルし、バレーボールのようにジャンプする「オーストラリアンフットボール」はスピーディな展開とダイナミックな個人技で、世界で最も激しい球技と知られています。体育科教員として、開拓精神とスポーツの結びつきを感じ興味深かったです。全豪オープンが開催されるセンターコートのみ晴らしい施設も見学することができ有意義でした。

メルボルンを発つ日、ホストファミリーと泣きながら別れを惜しむ生

徒達の姿が印象的でした。生徒達には、今回の貴重な経験を通して感じたことを、これからの人生に活かして欲しいと思います。

四十名という大きな集団でしたがチームワークよくスムーズに助け合い、全行程を気持ちよく終えることができたことに安堵の思いです。

最後に、プログラム運営に多大な尽力を賜った国際交流委員会を始めとする諸先生方に、この場をお借りして深く御礼申し上げます。有り難うございました。

また私をホストしていただいたマリサ先生ユリ先生にも感謝します。



NATIONAL SPORTS MUSEUM 2014. 3. 21

短大だより

進路状況と

キャリア支援について

キャリア支援センター

平成25年度卒業生の3月末現在の進路状況について報告いたします。

子ども学科卒業生152名の進路先は、幼稚園26名、こども園4名、保育園99名、福祉施設13名、企業5名、家事従事3名、進学者は4年制大学1名、美容専門学校1名でした。幼稚園教諭・保育士の専門職としての就職者は90%を占め、例年通りの高い就職率となっています。

14名卒業した人間介護福祉学科では、就職者は老人介護施設10名、家事従事2名、進学者は4年制大学2名でした。

オフィス人材育成学科では45名が卒業し、卸・小売業10名、医療・福祉7名、製造業4名、金融・保険業4名、情報通信業4名、公務員1名等に38名が就職し、家事従事者は2名、進学者は4年制大学1名、製菓専門学校1名でした。

子ども学科関係への求人は697人(昨年664人)、人間介護福祉学科へは630人(昨年473人)と増加しました。オフィス人材育成

学科へは533人(昨年561人)とほぼ昨年と同数の求人がありました。

5月17日に文部科学省及び厚生労働省が公表いたしました、平成26年3月大学等卒業者の就職状況調査結果(4月1日現在)では、大学(学部)は94.4%(前年は93.9%)、短期大学は94.2%(前年は94.7%)となりました。本学の就職状況は99%で県内の短期大学の平均94.5%を上回っています。5月末現在、未内定のまま卒業した学生の2名の内1名が就職いたしました。これも各幼稚園、保育園、施設、企業、高田学園関係者の皆様方のご支援の賜物と深く感謝いたしております。

多くの本学学生の出身地域であります中南勢地区の園・施設・企業を増加を願っております。

今後とも学生一人ひとりの社会的自立を促しながら、現代社会についてリアルな認識を持たせ、働くこと、労働・職業・雇用についての理解を含んだ支援をし、学生の進路希望が実現できるよう引き続き努力していく所存です。

学苑同窓生の皆様におかれましては、今後も学生の進路希望実現のため、ご協力ご助力の程よろしくお願い申し上げます。

◆短大部会だより◆

北端 一子

久しぶりに、園長のときに仲良くしてもらった仲間と食事会をしました。七年から八年ぶりの人もいて、とても懐かしく感じました。話し始めると、時間が戻ったような錯覚を感じ、今も現役でいるように感じました。不思議ですね。話は、次から次へと続きましたが、いつのまにか子供のことや、家族の話、家庭菜園の話と広がっていき、時間があつという間に過ぎて、帰る時間になり、現実に戻りました。また、会いましょうと言いがら別れました。なにかほんわかとした楽しい気持ちになっていました。心がリフレッシュしたのかな？

さて、今年度の第一回の短大部会が、四月二十二日夜七時にありました。役員は、現役の方が多いので夜しか集まらないのです。でも、なかなか全員出席といきませんので、出席数の多い日に役員会をすることになりました。

役員会では、樹心同窓会のホームページに、トピックスとして短大部会の様子が載っていたことが話題になりました。時々載せてもらって知ってもらえるように、お願いしようということになりました。

今年、高短祭一日目の十月二十五日土曜日に部会が出店します。バザーをします。学生も、いろいろ考えて出店します。とてもにぎやかです。一つ一つ見て回ることも楽しいですよ。高短祭に遊びに来ませんか？多くの客に来ていただけようにするには、どうしたらいいか、考えを出し合いました。手作りの品物を増やそうとか、やはり楽しみにしている方もいるので日用品は必要だと希望しても、会員の方が出してくださるので、何が集まるかは分かりません。集まった中で、工夫して出展したいと思っています。

最後に、理事の方への連絡内容の確認を行いました。ついついマンネリ化になりがちですので、楽しみにしていただけのような内容にしたいと、文章の言い回しを考えました。高短祭案内と一緒に送りますので、待っていてください。

会員だより

高中41会ゴルフコンペ

昭和四十一年三月に高田中学校を卒業して以来、五十年近くが過ぎました。あつという間に過ぎた半世紀を振り返り、当時は懐かしく思い出しながら、原稿を書いています。

懐かしい施設の一つが、大理石(?)使用のプールです。三年生の時に完成したと思いますが、水泳の授業時には何度も滑りそうになったものです。

我々の学年は、中学三年生3クラス最後の学年で、翌学年からは六年生コースが新設されました。当時1クラスだったのが現在五クラスと

なり、進学校としての実績は全国的なものとなりました。中学校の卒業生ではありますが、新聞や雑誌等で「高田高校」の名を見ると、誇らしい気持ちになります。

さて、「高中41会ゴルフコンペ」ですが、これは還暦を機に懇親会をもった際、誰からともなく言い出して始まったコンペです。「時間の余裕も出来てきたし健康のためにも、ゴルフはどうだ？」というわけです。

年に二回(春秋)、十四、五人程度が集まって親睦を深め、腕を磨いています。三重県在住の参加者が多いのですが、神奈川県からの参加もあり、今年の春で七回を数え益々意気盛んです。

一緒にゴルフを楽しもうと思われの方は、是非ご連絡下さい。多くの方のご参加をお待ちしております。

*連絡先

樹心会事務局長 安井敏明様

(文責 菱井光生 中3 41年卒)

傘寿の集い

平成二十五年十一月三日

高田高校第四回卒業(昭和二十七年)「傘寿の集い」の報告をします。八十路坂、もうと思えば下り坂、まだと思えば上り坂。今年我々は、八十歳を迎え区切りの歳。同窓会

を、との声上がり、同窓会の名簿を基に、消息を辿りました。二クラス七十五名が新装なった高田本山の「高田会館」で行いました。卒業時の校長先生は、八木沾山先生で、その当時の先生方は厳しい中にも温かみがあり、人間味溢れる先生方でした。中でも印象深い先生は厳しい中にも温かみがあり、人間味溢れる先生方でした。中でも印象深い先生は、仏教(川瀬 漢文(谷) 国語(生桑) 社会(原田) 数学(本堂) 生物(渡邊) 地学(山田) 等の先生でした。私達七十五名は戦前、戦後の混乱の中、昭和二十一年、高田中学に入学。二年生の時には教育改革に依り、新制高田中学となりました。新制高田高校に入学して文武両道の精神を基に、厳しい中にも温かい指導を受けました。進学は三重大学五名、私立大学六名、公務員七名、などの記録があります。我々が高校三年生の時に、一年生に女子が入学してきて男女共学となりました。クラブ活動は応援歌も出来、とても盛んで、中でも、硬式野球部(私も野球部員でした)ハンドボール部、ラグビー部などが県代表となった事もありました。他にも、陸上競技、軟式テニス、卓球などもありました。文化部では、仏青、弁論、放送、文芸、ブラスバ



2014. 4. 18 一志CCにて

ンド、化学部数学部、生花、茶道、美術、園芸など、非常に盛んであり、運動会での仮装行列は恒例の行事となっていました。

中学、高校と六年間を共にした同級生、二十六名が長い歳月を生き、元気で再開出来たことは非常に嬉しく、又、恩師である別所武先生にも出席して頂くことも出来ました。別所先生からは、学苑の近況も聞かせて頂き立派な学苑になったことは本当に嬉しい限りでした。集いの後、みんなで学校訪問をして、梅林校長、河北事務長の案内で新しくなった校舎を周りました。我々の卒業時は教



職員三十三名でしたが、現在は教職員の数も多くなり職員室の大きさにも驚きました。他にもプラネタリウム、天文台、講堂の立派で大きいこと。又、運動場も広く整備されて非常に立派な母校となって嬉しく思いました。

我々の時代は運動場が狭く、野球部とラグビー部、ハンドボール部、陸上が混ざり合って練習していました。又、駐留軍が野球をしに来た、見たこともないような大型の高級車やジープに驚いたことも印象に残っています。いろいろな思い出が去来する中、一時間余り校舎のあちこちを、見学することができました。同窓会に出席出来る幸せに感謝しつつ、旧交を温めました。不参加者の八名にも同窓会での情報、寄せ書き、写真などを送りました。我々の自己史の一ページに、今回の同窓会を加えてほしいものと思いました。「別所先生に米寿で又、会おう」又水谷君の言葉を頂いて「ご縁を有難う!」。学校訪問の記念として、我々から図書館への本の一部として志を贈らせて頂きました。

幹事 高根 高士

(高田中学昭和二十四年卒、高田高校昭和二十七年卒)

■事務局長挨拶

平成二十六年四月より高田学苑樹心同窓会事務局長に就任いたしました。会員総数四万三千名を超える方々の事務局をお預かりする責任の重大さを痛感している毎日です。同窓会事務局は高田中・高等学校の第一体育館一階学生ホールにあります。是非お立ち寄りください。お待ちしております。

顧り見ますと昭和四十一年に高田高等学校に入学し、昭和四十九年には母校高田学苑の教員として採用されて以来、五十年近くの年月が過ぎてしまいました。これまでのご恩返しと、微力ではありますがお世話になった学苑と同窓会のさらなる発展のため精一杯努めてまいりたいと思っております。皆様方のご支援ご協力の程よろしく申し上げます。

安井 敏明(昭和四十四年高校卒)

平成25年度退職教職員

- | | |
|-------------|-------|
| 山宮三橋澤小小織小上浅 | 辻柘塚草石 |
| 崎崎宅本井菅池田倉村尾 | 川植本深井 |
| 征つ啓景光千は紀知 | 良宗陽 |
| 子子子次子か子子晶男 | 太隆子幸治 |
- (中・高)

■ 訃報 ■

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 上田 俊夫 | 井村 一雄 | 伊藤美智子 | 石井 信宏 | 小西 信宏 | 大久保敬子 | 朝日奈 創 | 蒲池 稔彦 | 西尾 恒三 | 館西 裕生 | 長谷川 清 | 倉田 恒一 | 落合 正和 | 玉樹 昭 | 佐脇 聡明 | 岡村 邦久 | 金児 堯行 | 鈴木 昌雄 | 天春 昌雄 | 細川 義應 | 石川 琢應 | 稲垣 薫 | 丹羽 房雄 |
| (S35) | (S35) | (S35) | (S35) | (S31) | (S30) | (S29) | (S28) | (S27) | (S25) | (S26) | (S24) | (S22) | (S20) | (S20) | (S20) | (S17) | (S16) | (S12) | (S8) | (S7) | (S15) | (S10) |
| 高校卒 | 旧中卒 | 旧中卒 | 専門卒 |
-
- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 石川 周通 | 西井 昭夫 | 行方 輔 | 秋山 信彦 | 今村 博勝 | 天野 俊太 | 川西 春保 | 落合 拡充 | 浜中 信明 | 鷹阪 正敏 | 伊藤 光雄 | 前田 敏子 | 辻井 秀月 | 長尾 明敏 | 太田 保博 | 吉田 安 | 宮西 悟 | 松尾 光暁 | 藤原 久男 | 中川 充子 | 近藤 育子 | 小林 幸夫 | 川辺 幸夫 | 太田 幸夫 | |
| (S32) | (S30) | (S28) | (S26) | (S26) | (S26) | (H22) | (S59) | (S42) | (S42) | (S38) | (S38) | (S36) | (S36) | (S35) |
| 高校卒 |

*お詫びと訂正
昨年度会報の物故者に、前川 典紀様(S25年卒専門)を間違えて掲載してしまいました。ご本人様をはじめ関係者の方々にも多大なご迷惑をおかけし大変申し訳ございませんでした。今後、このようなことのないよう紙面作りに取り組みたいと思います。ここにお詫びをして訂正させていただきます。

ご受章おめでとうございます
葛西 豊様
(高校昭和34年卒)
旭日双光章ご受章
亀山市議会議員5期、スポーツ少年団団長20年などの功績により、旭日双光章をご受章されました。

松田英明様
(中6昭和45年卒) 三重セキ販売社長
黄綬褒章ご受章
農機具販売の会社を父親から引き継ぎ、機械に合わせた肥料や農薬の販売、減農薬の米作り指導など、農業の発展に貢献された功績に対して、黄綬褒章をご受章されました。
松田様は、高田学苑評議員で、同窓会役員としても運営にご尽力されています。
誠にありがとうございます。ますますご健康で今後とも一層ご活躍されますよう祈念いたします。